

みんなの 健・康・と・法・律



福岡大学医学部精神科 講師 小林 隆 児

■こどもの心の発達(第3回)

心の発達をみる鍵

こどもの心の発達をみていく際に重要な点はいくつかありますが、まず第一には生後2〜3か月頃からみられる3か月微笑といわれる現象です。赤ん坊は生まれた直後から外界の対象を目で追うことが最近の新生児研究から明らかになってきました。が、数か月経過すると外界の認知も鮮明になり母親のあやしかけや笑みに対してさかんに笑って反応するようになります。外界からの働きかけに対してはつきり反応するこの時期を人生の社会的交流の開始とされています。この反応が乏しかったり認められなかった時はかなり重篤な精神発達の問題をかかえていることを疑ってみる必要があります。おとなしく手がからなかったといわれる赤ん坊にもこうした特徴がみられることがあります。

第二に大切な点は生後7〜8か月に顕著になってくる人見知り現象です。分離不安または8か月不安ともいいます。母親とそうでない人とを区別し、母親から離れることに不安を示す時期です。これは自分にとって大切な人とそうでない人とを区別する能力が育ってきた証です。でとても重要なサインなのです。が、母親はこの時期からしばらく育児に手をとられ、仲々思うように自分の仕事ができなくなります。しかし、育児の楽しさや喜びが深まり、母子のコミュニケーションションがどんどん深まり人生にとって最も大切な基本的信頼感といわれるものが赤ん坊の心の中にはぐくまれていきます。こうした関係が出来上がっていつかはじめて赤ん坊は母親を通じて様々なことを学んでいくことが出来るのです。こうした関係が仲々育たないとその後の精神発達はうまくいかないことが多く、その代表的な精神障害が小児自閉症といわれる病気です。このことはあとでさらに詳しく述べてみたいと思います。

うし... ました?

ドクター

ハロー

■フイツシャーシーラントとは

乳歯でも永久歯でも、奥歯(臼歯)の噛み合わせの溝は最もむし歯に成り易い場所です。特に生えたばかりの歯は歯質が未成熟なうえに溝も複雑なので、食べ物のかすが溜まりやすく危険です。歯ブラシなどによる清掃でもなかなか効果がありません。歯の平坦な歯面に効果的なフツツ塗布も、このような複雑な溝の中には効果が期待できず、写真のような奥歯の噛み合わせの溝を、写真のように合成樹脂などでふさいでしま

い溝の表面を平滑化することによって、物理的に物がたまるないようにするものです。ですから正しく利用できればむし歯の予防にとても有効な方法です。然し、完全に噛み合わせの部分に歯肉肉にでてからでない、フイツシャーシーラントはできません。なぜなら、少しでも噛み合わせの部分に歯肉がかかっているとシーラントとの間にステップができて、かえってむし歯に成りやすくなります。勿論フイツシャーシーラントをしたからといって絶対むし歯に成らないというわけではありません。他の予防処置も並行して行い、かつ、家庭でもやはり食物に気を付けたり、十分な歯口清掃を行う必要があります。フイツシャーシーラントは近くの歯科医院で比較的簡単にやってくれますので、むし歯になる前に一度相談してみてください。



福岡歯科大学 小児歯科学教室 助手 石井 香

健康コラム

顔色が悪い 皮膚は「内臓の鏡」です

Q 小学校3年の男の子、生まれつき顔色が悪く、病気との関連が心配です。どんな注意が必要でしょうか。

A 顔色が悪いというときは、普通、顔色が青い、血色がよくなく白っぽいという場合をさすことが多いのですが、チアノーゼ、つまり暗紫色を帯びているという場合も含まれるでしょう。もちろん個人差があつて赤ちやんや子どもはみんなリンゴのほっぺ、というわけではありません。色白の子もいるし、血色のいい子、悪い子もいます。顔色には多くの因子が関係していて、むくみがあると白っぽく見えますし、室温など環境の温度によつても、顔色は容易に変ります。また、黄疸の有無や、体質的あるいは家族的な要素によつても、顔色は変わってきます。顔色が悪いといった場合、まず、貧血を疑いますが貧血といつても、鉄欠乏性貧血、溶血性貧血などのほかに、種々の血液の病気が隠れていることがあります。顔色の悪さに加えて、体重がふえないということがあれば、すぐに小児科医にみてもらいましょう。